No.69 contents

- 春季二科展開催 (絵画)総評 (絵画)春季二科展の意義 受賞作品寸評 (絵画)作品寸評 (彫刻)総評・作品寸評 第100回記念二科展巡回展 「伝説の洋画家たち 二科100年展」福岡展 東北支部連合に思う 支部通信 2 3 4 6 8 11

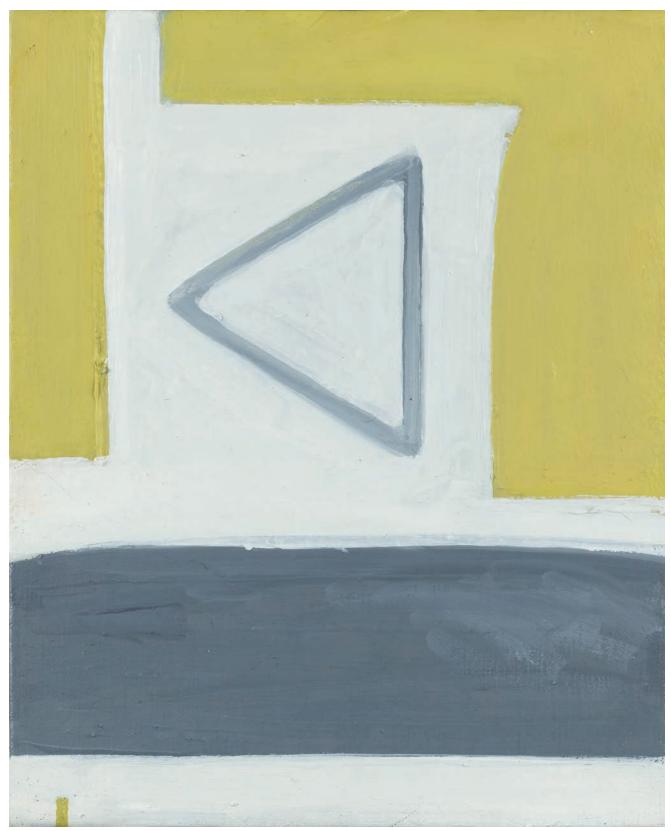
- 東北支部連合に忠っ 12 支部通信 13 第101回展に向けて 絵画部・出品のQ&A 14 第38回定時会員総会 役職一覧 15 公募団体ベストセレクション美術2016 訃報 第101回二科展巡回展日程 16 第101回二科展口程表 短信 第2回コラボ展示 事務局だより 編集後記





春季

発行人:田中 良 発行:公益社団法人 二科会 http://www/nika.or.jp/ TEL:03-3354-6646



表紙:吉井英二







授賞式・レセプション

季二科展の意義 松室重親

を会し、行きのというという。 を寄って発表することを趣 を発し、充実した芸術空間 を発し、充実した芸術空間 が伝われば、来場した人々 が伝われば、来場した人々 にも感銘を与えることが出 来るであろう。戦後70年を 軽て、環境とともに人々の 軽で、環境とともに人々の 各自が従来のスタイルでは展に対して、春のそれは、 ある秋の二科

も必要になってきたように諸公の見識と知恵が是非と運営していく為には、会員 して、吸収しつつ公募展をなった。これを認知・考察なれるようにといるように や図形の組み合わせが出来、

して

いる。

作によって、

不思議な画

像操



ギャラリートーク

受賞作品寸評



田中さんは人体を描き二科展に二十数年出品している。人間を見つめ、かたまりとして色々な構成を工夫りとして自分を表現しようとしている。デッサンを日常化して、より深い人間が表現されることが楽しみである。

田中 壽美 「みみをすます」 F130

春季賞

田中壽美





田村 忠男 「帰り道」 F130

春季二科賞

太田 広信 「Layer」 F130





会員展示 5室

春季二科展

絵画部

総評

田中

良

す。 い た。 本地方が大震災で、被 本地方が大震災で、被 に心からち、 に心からち、 スーフンの前日、九州熊本地方が大震災で、被害甚 たの御様子、被災地の皆様 に心からお見舞申し上げま す。当時、熊本県立美術館 分館で二科巡回展が開催中 でしたが、絵画、彫刻の作 品に損傷がなかったのが幸 いでした。 プンの前日、九州会であった。 名は昨年よりやや多く、 短い日数であった。 まで春季二科| 美術館で4月| は昨年よりやや多く、盛い日数であったが、入場で春季二科展が開催されで春季二科展が開催されであるたが、入場

示で、1室をもうシンパーから3室までが選抜者の展会場に目を移すと、1字 した会員諸氏の奮闘に、改に、担当理事を中心に参加日の午後2時に開場する為日の午後2時に開場する為 めて感謝致します 少し広げる抜者の展りと、1室

彫刻の展示室に入ると、 選抜者の作品を含め、作品 選抜者の作品を含め、作品 選抜者の作品を含め、作品 4室の使用には館の構造上4室からは会員の作品でよかった。 受賞作品もあり、夫々が、受賞作品もあり、夫々が、受賞作品もあり、夫々が、受賞作品もあり、夫々 を感じた。またの問題があり、 品が多く、 次に期待したい 、その事情の反省あり、考慮の必要

> 2 選接作家

楽しい会場となった。今後の二科会は、今迄以上に新人の育成、支部の充と、公益社団法人としての社会への奉仕等、果たして社会への奉仕等、果たしていきたい。終わりに、災害地との詳細な連絡等も含め、塙事務局長はじめ事務方の御苦労にお礼申し上げる。



東京都美術館

6 4.

23

開催









選抜作家展示 2室

4月17日 14:00 開場

作品寸評



遠藤 学 「The Warning of large Fenrir」 F100



羽根 真実子 「おやすみモーニング」 F100



池田 佐知子 「心のフロシキ―雪解け―」



石井 晶子 「水辺風景」 F130

科



作品寸評 ——

山田 祐二 「窓辺 風のダンス」 F130

F100 山田 祐二 山田 祐二 本語 大き 大き 大き 大き 大き で いっとなった。モティーフーつーつが細かく鮮烈に描かれている。 踊るモデル人形にも生命の存在感を強調することで、背景とのコントラストが明確になった。安定と不安定のはざまた。安定と不安定のはざまれており、これからの新たなる展開が期待される。

(一乗 清明)

伊藤 須美 「campagne」 F100

伊藤 須美 いつか、どこかで出会ったような旅の感動、そんな楽しさが率直に大胆に表現されていて心地よい。そこで先輩先生の助言をひとつ。「その絵の中に本当の山や道があって、汗をかいたり気があって描いているのです。その真実さを構図や色合いになって描いているのです。になって描いているのです。になって描いているのです。

よい。 (堀尾 一郎) とおさえた色彩の使い方も が成功している。精密描写 「どきっ」とさせる描き方

石井 晶子い。 (堀尾 - 3、 い。画面のどこかにポイン な色面 (マッス)として自然 をとらえているところが良 具象でありながら、大き 来しみ……。 (堀尾 一郎) おろしきの文様が変化をも たらしている。「心のフロシ たらしている。「心のフロシ たらしている。「心のフロシ なるで、 かるしきの文様が変化をも



石川 由巳子 「きざし」 F130



髙橋 和平 「画室・2016春」 F100

大変深く観察し、描写してあり好感の持てる作品。 大変深く観察し、描写してかりが少々痛々しく見える。 うか少々痛々しく見える。 うか少々痛るして他人 目線にするともっとユニー しかも。 (益子 佳苗)

成功している。(堀尾 一郎)かが起るきざしを感じさせかが起るきざしを感じさせら。何事白の線描が美しい。鳥の白の線描が

沖永 啓高 「天空の神の導き」 F100

神永 啓高 一直を向いた鷹だろうか、鋭い目、無数の丸いでは。 一ラー跡、黒い線の太さいでである。白の で変化、複雑さがあれば、 に変化、複雑さがあれば、 に変化、複雑さがあれば、

中村 百合江 中村 百合江 (益子 佳苗) はったかも。 (益子 佳苗) なったかも。 (益子 佳苗) なったかも。 (益子 佳苗) はったかも。 (益子 佳苗) はったかも。 (益子 佳苗)

中村 百合江 「静動の虚実」 F80

前橋 伸哉 いつも人気を感じない建 物を画材に選んでいて今回 は色をさらに無くしそれを 強調したのだろうが、その 分物足りなく感じ、荒さが 居についた。二科100回 展の作品は密度が有り静け さが溢れていた気がする。

前橋 伸哉 「佇む」 F50

一乗清明)

茂木 拓 「靄の街」 F100

科

耕成

者の作品を含め、51点が展して前年100回展の受賞を支え

示されました。展示は、長 美術館の画一的な台座を用 美術館の画一的な台座を用 中央部には比較的高さの低 い、石の作品などが整然と 置かれ、従来通りのあまり 変わり映えのないものでし た。展示では様々な制約が

ができました。

出品者それぞれの作風や追い求めているテーマについては、例年の本展で拝見し、では、例年の本展で拝見し、の春季展では当然出品作品のサイズは、おおむね小さくなっています。しかし作くなっています。しかし作者の彫刻におけるリアリティーや造形力、そして、そして、 作品を発表してくれること 作品を発表してくれること 作品の大きさにかかわ ここでの成果をもとに秋のここでの成果をもとに秋の この は、作品の大きさにかかわ は、作品を発表してくれること と思います

山田美智子これまでの作品も、今回のこれまでの作品も、今回の大きでいる。子供の世界は子供の成長と共に広がってゆく。今回、その少し広がった世界を感じさせられた。愛息とその友達とののびやかな風景が、作家のの視線から描写された作品と感じた。 (信時 茂)

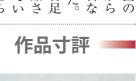
1週間の会期も無事終了することができましたが、は本、大分両県ではいまだに余震におびえ、日常生活をます。我々アーティストが、ます。我々アーティストが気持ちを一つにして被災地の気持ちを一つにして被災地の、 ことを祈念してお

本多 紀朗 「出立ち」

いようなフ 本多紀朗



春季展では立体作品だから 春季展では立体作品だから 展示の必要性を感じました。 しかし、展示計画の物足 りなさは別にして、出品さ れた作品をゆっくり観てい ると、その作品から発せら れる良質な言葉を聞くこと





服部 多加志 「獅子吼Ⅱ」

i多加志

今回の作品「獅子吼Ⅱ」 今回の作品「獅子吼Ⅱ」 なのかなという印象を持 さなのかなという印象を持 った。言い方を変えると、そ った。言い方を変えると、そ った。言い方を変えると、そ ったのではないかと思った。

(菅原 二郎)



作品寸評

杉 亮介 「A」

森本諒子

森本 諒子 「エイム」

「エイム」は白花崗岩による座った動物を連想させるものであったが、曲面の性格がモノトーンで残念に思った。曲面にもう少し変化を持たせるともっと魅力的な作品になったのではないかと思う。 (菅原二郎)

にまく見ると、色々な所に 木がはめ込んである。以前 に制作した作品を、新たに 手直しして彫り直した為の 埋め木との事である。年数 をかけて慈しんだ感じが伝 をかけて慈しんだ感じが伝 をかけて慈しんだ感じが伝



2016. 6. 30 No.69

来栖 花 「吸う」

町田 至 「シタタル」

来栖 花なんらかの生命体のような有機的な形が床を這う。な有機的な形が床を這う。めく形か…。硬い石に柔らめく形か…。硬い石に柔らかなフォルムを定着させようとする意図だと思うが、ではないかと思う。

町田 至 100回展では、厚みのある建て板材とケヤキののある建て板材とケヤキののある建て板材とケヤキののある建てという展示であった。作品の内部に人を取りた。作品の内部に人を取りた。作品の内部に人を取りた。作品の内部に人を取りた。作品の内部に人を取りた。作品の内部に人を取りた。作品の内部に人を取りた。作品の内部に人を取りた。 品であると感じ 板材・町田町田

(橋本

和明)

制作意欲はおおいに感じるが、それが少々うるさくなっている。肩のラインを作っているが頭部分、手の部分の動きで十分体を感じられるので、省略する所を見付けて行くとより良いと

(二 ノ 宮

裕子)

浜田 修子

科

本多 智雄 「風を巻き起すモノ」

浜田 修子 「2016 習作 I 」

本多智雄 作者は銀色の既製品を用いて人体をモチーフに制作 している。素材は重要なファクターだが、、既成品が 生み出すイメージ、からの 自立が今後の課題となる。 自立が今後の課題となる。 主ることを期待します。

〇回記念

■東海展

■大阪展

平成7年10月27日

会場入口掲示

莧

8日

平成27年10月

10 月 12 日

(愛知芸術文化センター)愛知県美術館ギャラリー

根付いていることに感銘新聞・TV等の協力と理新聞・TV等の協力と理がを得て伝統的に地域に しい展示とレセプション100回記念展にふさわまれたスペースで、 派遣理事 山中宣明

していたことです。外に向いていることが、東海地区活機制で民主的に運営し、愛知、三重、岐阜の出品者を会員が総力で平等に応援していることが、東海地区活性化の原動力になっているのは間違いありません。 本部や各支部、地域も見 の大作をアーケードに展示選抜した数名の若手作家

を して 会地域 の出品 の出品 に でするべき でするべき して していると ると思

を展示してい と、巡回作品 と、巡回作品 ます

者数で最大の は規模、参加

「もう一つの二科」と題し、特筆すべきは同時開催 習うべき良き

二科東海展

ラム)」を実施しました。

でもらえる、 三世代でア コンサ

「第64回こ

・に親しん

の歩み(フォ

は、

音楽とア

トによる

世界で会場を包むロビー

を開催。

家族

を受けま

品展」「東海の先鋭作家展」 第



「東海の先鋭作家展」 アーケード展示スペース

今回の

大阪展は、

大阪市立美術館

ちにとって、

「伝説の洋画家

大変幸運な

阪展) たち二科

なり、

過去から現在まで と前半の開催が重

の二科を同じ美術館で鑑

として「会員チャ しています。もののあると私たちは自負 0回展はイベン 1

変誇らしいものでした。

11月3日の文化の日に

科一色となった様相は大ある美術館が、まさに二

会に恵まれました。伝統 賞してもらえる貴重な機

今回は東京より山中宣明理事のご来訪があり、会理事のご来訪があり、会賞懇親パーティにも出席され、温かい励ましのお言葉れ、温かい励ましのお言葉れ、温かい励ましのお言葉を頂戴し、一層、活気の多 る東海展のスタ -が切

> ワンポイントア 科出品を目指す ども二科」をはじめ、

·ドバイス 方々への

も例年通り開催。これら

海展となりました。 者でにぎわい、充実会期中、連日多く 充実した東日多くの参観

> 得ることができました。 前年度を上回る来場者を

支部長

尾崎

果もあって、

高い反響と

画家たち」展との相乗効のイベントや、「伝説の洋

三後 勝弘

支部長

オープニング

が恒例になっているそうの巡回展で年初を飾るの広島県立美術館は二科

派遣理事

生方純

新田稲實、

を牽引された先輩、

今年の目玉は、

です。

本年も1月5日が

ープンで、

テープカッ

また、四国の愛媛からも7を探る機会がありました。 真を見せていただき、大い場していて、持参の作品写 に意欲を感じました。 8名の二科展出品者が来た、四国の愛媛からも7

頂き、

00年

の意義を語って

生方先生より

開会式後のト

賞し、広島支部出品者の巡回作品をあらためて鑑会場内では展示された

法を伺い、批評を交えなの前で制作意図や表現方紹介を受け、各々の作品

させていただきました。

から参加し、

ご挨拶を

記念展ということもあり 原爆資料館、安芸の宮島な 広島巡回展は100周年

では、 又、開会式後のトーているのが印象的でした。

翌日は広島現代美術館や も多く

支部長

高藤

博行

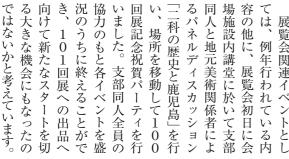
■鹿児島展

平成28年3月11 月 20

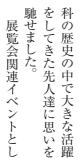
黎明館

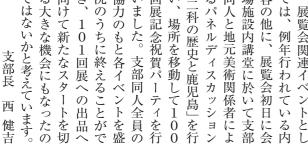
解を新たにした展覧会とな地元ファンにも二科への理 支部同人だけでなく 馳せました。

き、101回展への出品へいました。支部同人全員のいました。支部同人全員の協力のもと各イベントを盛協力のもと各イベントを盛いました。 るパネルディスカッション同人と地元美術関係者によ場施設内講堂に於いて支部容の他に、展覧会初日に会 容の他に、 ては、 ではないかと考えて 向けて新たなスタ る大きな機会にもなったの 例年行われている内 トを切











京都市美術館 平成27年11月24日

例年どお

年

会場が狭く、絵画136 独立展が二分し、共に京独立展が二分し、共に京

場者は6、315人と前 小規模展示です。入、写真も含め304点 彫刻16点、デザイ

ため

いたが

の一概には喜べませ、開催日が2日多

科

2016. 6. 30 No.69

イベントとしてギ

クを2回行

一広島展

平成28年

月 10

広島県立美術館

■京都展

12 月 6 日

た。また29日にミニ・コンめのハウ・ツーも語りまし 作品解説とともに出品のた

受賞者は、絵画でパリ賞の受賞者は、絵画でパリ賞の 結果が得られたよう の美しい響きが会場にはなサートを開き、弦楽三重奏 やかさを添えたようです。

現在のところ新聞社との共催で開催出来ているため、巡回展としては恵まれているようですが、昨今の新聞社は経営が厳しいこと、美術館の使用料が今回から23万円アップし高額になったこと、第額になったこと、第額になったこと、第額になったこと、第額になったこと、第 ュアルな問題が山積えないなど、アクチ

互いポジティブに表る」者の集まり、お でも、私 現を拡げたいもので いろ 私たちは「創 どんな状況 ろと大変、

支部長

史雄

どをご案内に 入場者も例年より

100周年を迎えた二科長、広島巡回展も60回の記展、広島巡回展も60回の記展、広島巡回展も60回の記 生方常務理事をお迎えし、

がら「私ならここはこう法を伺い、批評を交えなの前で制作意図や表現方 特別展示

況とのことでした。

いただきました。

鹿児島県歴史資料センタ

鹿児島での開催が66回目となる今回は100回目となる今回は100回展を記念して鹿児島に縁の深い有島生馬、東郷青児、吉井淳二、山口長男、春田安喜子の7点の作品を特別展示し、改めて二

りし日のパレードや懇親会く知るオールドファンが在く知るオールドファンが在と半世紀前の広島巡回展風と半世紀前の広島巡回展風 天気に恵まれ、来館者は天気に恵まれ、来館者は正月早々にもかかわらず正月早々にもかかわらず の写真に懐かしい顔を探しりし日のパレードや懇親会 佐伯輝一の作品 来館者は 長く支部 増田勉、 三]科

第100回を迎えた2015年の記念事業の最後を飾る福岡展

チに深い感動を覚えました。

エピソードをまじえたスピー方の豊富な経験からの数々の

集まりました。講師の先生 部回顧」には72人の参加者が

ると共に、二科会の存在を 者にとっては大きな励みにな

大きくアピー

ルできま

(田浦 哲也)

連合展を成功させようとする

及川英之代表

した。

少ない人数ながら、

常務理事による「二科展彫刻には99人、12月12日の吉野

「伝説の洋画家たち 二科100年展_

「する。」として、

福岡支部にとって嬉しかったことは、県出身の坂本繁たことは、県出身の坂本繁の作品はもちろんのこと、現の作品はもちろんのこと、現の作品はもちろんのこと、現の作品はもちろんのこと、現の作品はもちろんのこと、現の

対談

二科展絵画部回顧」 木戸監事による

クチャーは

クチャーは、11月21日の川内を記録し、関連イベントのレース場者数は10、131人

2015年11月7日(土)~12月27日(日)

のお人柄そのままのスピーチ事務局長が参加され、理事長

理事長

を行ったり

全面的に協力

しました。

に心温まる想いがしました。

石橋美術館(福岡県久留米市)

ニングには、

、田中理事長、塩いました。オープ

本新聞旅行の企画でバスツア配布をお願いしたり、西日

が開催されました。

洋画家たち 二科10米市の石橋美術館で

石橋美術館で「伝説の

真部にポスター・チラシ等の各県支部・デザイン部・写ら広報会議に参加し、九州二科福岡支部も開催前か

00年展」

美術館に続いて福岡県久留東京都美術館、大阪市立

科

■熊本展 平成28年4月

H

熊本県立美術館分館

れた熊本城が目前にある 後、満開の桜の花に囲ま 後、満開の桜の花に囲ま をお迎えして、展示終了 をお迎えして、展示終了 会場で、 では、 出席を賜り盛会裏に終了 前夜祭を行った。 することが出来た。 今回 オープニングセレモニ も前回 支部主催による 同様、 多数の

熊本県教育長様よ 言葉を - 好調に滑り出し良かったのだが、4月14日夜9 見舞われた。夜明けと同ちに会場に出向くと、

が祝いの

き

強い余震がつづく為、中止強い余震がつづく為、中止を決定した。かけつけて来たみんなと作品を一旦下ろし、安全な収蔵庫に固定した。これが結果的に良かった。その日の夜、16日の本震が長くつづき、不気味であった。地球はこれで終本震が長くつづき、不気味であった。地球はこれで終わりかと思う程の強い揺れた感じた。その時、殆どのを感じた。その時、殆どのを感じた。その時、殆どのない。ころとない。 強い余震がつづく作品が数点落下 である。 る。 全・半壊となってしまった。 支部同人の6名の家が して 13 た

前日に展示していた 作品全部を撤収して いたので、作品への 広報により、 あった。

被害はなかった。

平成28年

震が続く中、 4月中旬熊本地震の余 派遣理事 不安を抱え 香川 猛

4 月 19 日 月 24 見応えを感じました。 県による合同展でもあ

福岡

のこと。直後の福岡展に、速道路も寸断されていると 巡回作品が予定通り到着す いると

まで落下していた。そしてからは空が見えていたのでからは空が見えていたのである。暗い館内の床いっぱいてのでのでです。 会場での人的被害がなかっであったため、少なくとも強烈な二つの地震が夜間 は、テレビ局の工夫されこの度の開催で得たも 支部長 不幸中の幸 木戸 である。 征郎 いで たの この巡回展は福岡近郊の5れて展示され、壮観でした。

、出品者の意識高揚心が高まったこと 二科に関する県民の関 4部門の結束

■福岡展

会場であった4階の展示室2日前まではすばらしい

天井が全部落下

し鉄骨

しょう。会員諸氏の長い努力の賜で とした組織運営がなされ、支部長の田浦哲也氏を中心

4月14日の夜、今まで経験したことのない揺れに目験したことが心配になり連絡展のことが心配になり連絡をしますと、展示会場の天をしますと、展示会場の

います き、 事予定通り終しかし何とか無

することがですることがで

ホッとして

つづきました。中眠れない日が

か等々、

不安

は開催できるのか、前夜気

前夜祭

を記念して、織を記念して、織田廣喜美術館のごとリラと」の著者松尾孝司氏・織田廣喜美術館のごとリラと」の著者松尾孝司氏・織田廣喜美術館のごから提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景から提供いただいた豪華景 等多くの関連事業を開催 聞旅行との企画で二科展バ 真部による入場者記念撮影 9名の希望者を撮影 (63名の参加)、

なりました。 品者の今後の制作の励みと お聞きすることができ、 をお迎えし、 また例年 クは、 開催 貴重なお話を のギ 7.猛理事

支部長 田浦 哲也



4月16日未明 震度7の大地震で 甚大な被害を受けた 4階の展示会場

福岡市美術館

東北支部連合に思う

支部 参

11

中島 敏明

の気迫や意気込を中心に、同人

り若干 者数は 彫刻5点) 昨年

し、作品にも現みは昨年より増 点、計44 いては、 われてきました。 展示状況につ 計44点 (内 10 34

等、 北担当理事が賛助出品し、初より田中理事長始め8名の東 の向上と出品者増を目標に、抱えてますが、同人相互の質 指導されました。 添った考え方や技法も的確に品者一人一人の作品の個性に 日には自作品の解説や技法 す。その熱意に応えて、本部一致団結して克服されていま 0 惜しみなく披露され、

の先見の明で発掘育成される埋れ木や原石がいます。皆様

東北には眠って

いる沢山の

昨年の第1 やがて二科会の財産と 00回展に於て 彫刻

秋田6名 岩手 (秋田 6 名 名

美術展では、 大臣賞に輝きました。このこ 小野寺さゆりさんが文部科学 二科会一般出品者宮城支部の 方による厳選な審査の結果、 本美術院等 『展では、日展、二紀、日過日行われた第79回河北 方が受賞さ 々の著名な審査員

ことを切に願っております 東日本大震災の爪痕が残っ 地域文化の高揚に資す この連合

とも特筆し しておきます。

状況を打破する目的だけではの次世代への伝承を危惧するを立ち上げた意味は、二科会 来場者に 今後とも東北連合を暖かく見 たいと強く感じたからです なく、 あたえられる作家団体であり る活動と、 いる東北の地で、 作品を鑑賞される



宮城10名、秋田6 囲で、集会等幾つかの難題を から北端の青森県までと広範 今後の増員が期待されます) 工藤直彫刻部運営委員が第 この連合は北の玄関福島県 回展で会員推挙され の質

メディアテ

ク」で開催されま

昨年東北6県の支部が結集

東北支部連合を立ち上げ

5月28日から6月

宮城県仙台市の「せんだい28日から6月1日の6日

第2回東北支部連合展が

確信しております もいうべき人材になることと事は、やがて二科会の財産と この地道な活動を繰り返す

河北新報 2016年5月28日

科

第101回二科展に向けて

101回展より「二科新人賞」新設!

これからの二科を見据えて、 絵画部のU35出品者を対象に、 新人奨励賞に加え二科新人賞を 設けました。これからの二科を 担う大型新人の登場を会員一同 切望しています。

会員出品規約のご注意

会員作品の号数規約は第100回 展より3m以内になっています。 額装は作品の損傷防止のため、 従来通り3cm以内の仮縁を付け て下さい。ヒートンを所定の位 置に必ず付けて出品するよう、 お願いします。

●山梨支部

第6回二科山梨支部展 2016年6月25日~7月1日 山梨県立美術館 県民ギャラリーA

同人11名・一般出品8名の力作を 展示。同時期、県立美術館主催の山 梨出身女流作家展で二科会評議員 五味祥子及び二科初期に女性で初の 会友となった埴原久和代[故]の作品 の展示が評判を呼んだ。更に二科へ の理解を深めて貰う為、山梨出身の 二科会員5名(元常務理事天野三郎 [故·千葉]、元二科会会員新開盛寿 [故·福岡]、金沢在住五味祥子、東 京在住有泉學及び山梨支部長矢野兼 三「以上敬称略」)の作品・経歴を支 部展で紹介し、好評でした。

支部長 矢野 兼三

★地域の活動紹介を随時お寄せください。 順次紹介させていただきます。

●長野支部

第30回記念 二科長野支部展 2016年4月20日~4月24日 松本市美術館 市民ギャラリー

雄大なアルプスの残雪を望む松 本市立美術館にて開催し、来場者 の二割が外国人であり、片言での 対応に心地よい支部風景となりまし た。作品研究会、著名展覧会鑑賞 を実施。無頓着な中から生まれてく る独創性を貫く制作・態度を重んじ て進みます。 支部長 横前 秀幸



絵画部・出品の 〇 & A 会友・一般出品の皆さまへ

O 出品規約変更はありますか?

A 例年通り号数や出品料等の変更はありません。 不明な点は二科会事務局や支部の研究会等でアドバ イスを受けて下さい。

Q 会友・一般の号数は?

A F50~F80号を2点出品すればF100号を点数上限な しで出品できます。F80号以下が1点だけでF100号を 出品すると規約違反で受け付けられません。

―よくある違反例―

- × F80 F100 F100
- × S80・S80・F100(S80はF100号扱い)

O 過去に入選した作品に手を加えて再出品でき ますか? 未発表の定義は?

A 原則として未発表作品で新作に限ります。特に二科 展で過去に入選・受賞した作品は出品不可です。加 筆・修正して再出品しても新作とは認められない場合 があります。春季二科展の選抜出品作も本展には出 品できません。二科展以外で審査のあるコンクール等 に入選・受賞した作品も未発表とは認められません。 ただし各地域の二科支部展に展示・入賞した作品は 新作として本展に出品できます。過去に二科展に応 募したが入選せず展示されなかった作品は未発表で すが、そのまま再出品は望ましくありません。作品改 善をしたり、全くの同一構図にならないように留意し つつ頑張って新作として出品して下さい。

インターネット等でみた写真・画像や他の作家 の画集などを参考にして作品を描いてもいい?

A 他者の写真や作品を盗用・借用した作品は規約違 反となります。どの程度参考にしたかは大変難しい問 題ですが、審査時に作品チェック委員会を作り過去 の作品も含めて慎重に監査しています。影響と引用・ 盗用は別次元です。作家の良識とオリジナリテイ溢れ る自筆による作品として出品して下さい。会員同様会 友の過去の出品作品も二科公式HPに掲載しましたの で自己の作品検証や広報にご利用下さい。

Q 額装なしでも出品できますか?

A 3cm以内の仮縁を必ずつけて下さい(厚み10cm以 内)。現代アートでは額なし展示も多いですが、二科 では作品保全の観点から額装を原則としています。

Q 50号1点出品でも入選できますか?

A 原則として作品本位で審査をしますので可能性はあ ります。ただし出品点数の平均は3~4点です。自分 の世界観や熱意を伝えるには、2点入選を目指し複数 出品をお勧めします。

Q 賞や入落は誰がどうやって決めるのですか?

A 出品者が1年間かけてエネルギーを注いだ作品を、 会員全員が様々な観点から審議しつつ、挙手制度を 貫き公正な審査をしています。作品の質と挙手の数で 賞や入落が決まるのです。安心して制作に集中して、 チャレンジ精神をもって力作を出品してください。

(文責: 総務部 松室重親 山中官明)

支部通信

各地で支部展、研究会が催されています。今回は関東周辺支部の活動報告です。

●東京支部

第13回二科東京支部展 2016年6月4日~6月9日 北とぴあ B1展示ホール

会友の意欲作を中心に、公募応募 作品を含め108点の作品を展示しま した。会期終了後に研究会を行い、 101回展へ向けて、作品の質の向上 を目指す研鑽の機会としました。

東京の恵まれた出品環境を自覚 し、出品の方々に有用な情報を提供 できるように活動しています。

支部長 加覧 裕子

●埼玉支部

第20回 埼玉二科展 2016年5月3日~5月8日 埼玉県立近代美術館

同人31名で始めた支部展も、第20 回展は絵画・彫刻・デザイン合わ せて95名で開催いたしました。公募 も30名で県各地からの出品となり県 全体に埼玉二科展も定着してきまし た。来年の21回展は5月上旬の予定 です。更に充実した研修の場となり 地域文化の振興にも役立てばと思 います。 支部長 藤橋 秀安

●茨城支部

第54回 二科茨城支部展 2016年5月14日~5月19日 茨城県立県民文化センター

写真部と合同で支部展を県民文 化センターに於て開催し、公募入選 者、触って見るアートコーナーを含 め計264点を展示した。

初日に、知事、水戸市長ご臨席 の下、オープニングパーティを催 し、最終日に講評会を行って盛会裡 に終了した。 支部長 鎌田 道夫





●静岡支部

第43回二科静岡支部展 2016年6月1日~6月5日 静岡県立美術館 県民ギャラリー

43回目となる支部展を開催。同 人、準同人の他、高校生を含む一般 出品者を含め、79人・107点の作品 を展示しました。期間中1,018人の入 場者があり、賑やかな展覧会となり ました。 支部長 今村 幸子



●千葉支部

第61回二科千葉支部展 2016年5月24日~5月29日 千葉県立美術館

今年5月、第61回支部展を県立美 術館にて、同人並びに公募出品(一 般・高校生・ジュニア各部) 計494点 の展示で開催。毎年図録も発行。

年2回の合評会にて、問題点に向 き合いながら制作に励んでいます。 毎年12月には京橋の画廊に於いてサ ム以下の同人による小品展を開催。 現在支部同人90名(会員10名・会友 16名) 支部長 岩田博



●神奈川支部

第58回二科神奈川支部展 2016年5月11日~5月15日 横浜市民ギャラリー 1

特別講演:5月14日 山中宣明氏「具象と抽象の系譜・ 展開と技法について」

(同時作品賛助出品)

第58回二科神奈川支部展では、 学生公募が増加し、力溢れる作品を 数多く展示。特別講演には100人以 上が参加。

今後も同人一同、研鑽に励みたい 所存です。 支部長 吉田清光



2016. 6. 30 No.69

初日のギャラリー

公募団体

ベストセレクション

美術

2016

東京都美術館

5月4日(水・祝)~27日(金)

セレクション展

五味祥子

永年二科会において活 動された左記の方々が

心よりご冥福をお祈り

いたします

2016年

集まり熱心な聴講で、持トークに予想以上の人がにも拘わらずギャラリー初日は前夜からの暴風雨

会員

安食

雄

氏

ご遺族:古賀通彦

二〇一五年十二月十四日逝去

略歴

第65回展

特選

第第766967回展展

第85回展

会員賞

会員推挙 パリ賞会友推挙 科

会

出席理事 場所 席100名)により総会成立。出席会員190名(委任状出 松室重親 国立新美術館講堂 平成28年5月29日 良 伊庭新太郎

木戸征郎 出席監事 議長 田中 前田耕成 登坂秀雄 宮 香村 川 中島敏明 黒川彰夫 菅原二郎 吉井英二 島田紘一呂 長 猛 良 告野 恕 悟 尾崎 小田信 夫 民武夫 中原史雄 山中宣明 西 健吉 毅 功

第2号議案 成27年度決算承認の件

伊

|庭常務理事より議事資料 |成27年度事業報告

第1号議案

に基づき報告があった。

についての説明があり、川内常務理事より財務討 ついての説明があり、尾内常務理事より財務諸表

> 承認した。 No. 1.5 、満場一致でこれを可決車事より監査報告が行わ

第3号議案

に基づき平成28年度の事業 計画の説明、報告が行われ た。 平成28年度事 業計画報告

支予算書の説明、報告が行料に基づき、平成28年度収川内常務理事より議事録資 われた。 支予算書の説明、 第**4号議案** 平成28年度正時 味財産増減予

任期満了に伴う変第5号議案 新役員選任

一致で原案通りこれを可決承認を求めたところ、満場承記を求めたところ、満場けりが、各役員候補ごとに

0) 春季展費徴収方法変更案 後、 承認された。

れた。 この後、休憩をはさみ、別了し、議長は閉会を宣した。 室にて臨時理事会が開催さ 以上により 別

告され(下記表参照)、 の賛同を得た。

選ばれました。 議事進行は昨年議長に選出を初めに開催されました。 大村会員が1年間の任期で 議長については宮澤会員、 された廣瀬会員。 彫刻部会が菅原代表の挨拶 今年度の

第6号議案

を基に説明され、質疑応答徴収方法変更案が別紙資料川内常務理事より春季展費

彫刻部会

定時会員総会の 終了 後、

が国立新美術館講堂にて報理事会で決定した役員人事 満場

彫

秀武

夫呂雄夫猛長

白佐大堀瀧皆有

登 大 香

坂隈川村

塚尾澤川水岸

宮

健

山粕

紘明章一賢恵基光正清一裕公勝

郎子男廣介長子正 子子子郎福子雄代一明郎子久弘進ら理子幸二也世

谷 乗 場

島

田

紘

田

信

総会の議事を終

関連して、春季展の経緯や季展費の徴収方法変更案に

配布され、搬入受付時の注割分担が発表されました。 国立新美術館の展示また、国立新美術館の展示を 利用についての資料が

友、 会員、 ギャラリ 1名を加えた5名の予定、角谷会友、それに受賞員、廣瀬会員、山田会員、山田会

びを感じつつ、会議は今年の夏も制作でも 会議は終了

しました。 $\widehat{\mathbf{M}}$

工夫や彫刻部独自の魅力ら回の決定は、展示方法の今回の決定は、展示方法のが出されました。会員諸氏が出されました。会員諸氏 を中心にした新しい「春季ことになります。展示委員ある会場作りが求められる 展 2 0 しょう。 17」にして

員長より101展の会場構展示委員会からは小田委 成について大枠の説明が りました。 意事項が確認されました。 あ

(絵)石

附

Ŕ

雄 進

吉鷲西市小安津藤

田崎村川林田田巻

二直文明亮明裕秀

1

(彫)前 (絵) 尾 木 監事

田

耕

戸

征

評議員

成功郎

参与 (彫) 細

絵

文

井野原田

きる喜

彫

工吉

郎子健浩譲子雄

綿日

道 頼

事務局員

安田明長 珠世

引高藤

き

公益社団法人二科会 役職一覧 (平成28年5月29日現在)

(絵理 山中中黒 西

中原島川

吉 菅 吉 吉明雄明夫

後 田

(彫

野原井内室方 二英 毅郎二悟親

一馬加戸三濱野田五横森田塙

4

(絵) 伊

庭

新

一郎

絵祥秀謙哲珠

常務理事

 \blacksquare

中

代表理事(理事長)

評議員

((絵画)

平成29年1 県民ギャラリ 月3日(火) 1月3日(火)

鹿児島展

鹿児島県歴史資料センタ

日金

ご遺族:世古智子 二〇一六年四月三十 日逝去 氏

会友 世古

略歴 第95 回展

東郷青児賞 略 歴 二〇一六年四月二十 ご遺族:中川イ

第第第第第 100 96 94 90 86 回回回回回 展展展展展 会 員 推 挙 会友推挙 会員賞

明子

科

ベストセレクション展

作過程と重ねるようにな

略歴

第第第 50 47 45 回回展展

会友推挙 記念賞

〕遺族:安食裕子

して黒で花・ボディ・鱗ったこと、今回は実験と

絵画 = 吉井英二、五味祥 子、寺田眞、竹内幸子。 明廣、本多智雄 以上7名が二科会から参 加した。

ち時間20分はあっというち時間20分はあっという発緯で題名を「黒い花ー羽化する人―」にしたかの説明から始まり、蝶やセミの羽化する昆虫のやセミの羽化する昆虫のにした経験間を見て感動した経験があり、その変態・成長

二〇一五年十二月二十

享年79歳

会員

中川

功

氏



二〇一六年五月三十 逝去 90 歳

◆広島展

広島県立美術館

略歴 ご遺族:阿 慶生 第51回展 特選

特選

会友賞 会友推挙 会員推挙 金賞 会員賞

の件 伊庭常務理事よ 別紙添付

承認した。 資料に基づき、 任期満了に

会員 東郷 たまみ

会員

古賀

恵美子

氏

 $\frac{1}{2}$

日逝去 享年77歳

略歴 第 54 53 回 展 展 第第56550回回展展展 第57回展 会友推挙 会員賞 特選 金賞

第60回展 内閣総理大臣賞

会員 呵 美代子

氏

享年

享年79歳 五日逝去

享年82歳

第97 回展 会友推挙

15

ている。 空間を浮遊するイメージの木彫の猫、金属の人体がの と属の人体がいる で間を浮遊するイメージ

らし出され存在感を主張し群が、スポットライトに照ゆったりと陳列された作品

る。少々薄暗いと感じる中、空気を漂わせて広がってい彫刻展示室が、落ち着いた

改装で新設されたエレ

島田紘一呂

遊の表現を式みこ粉を描きたくて柔・軟・

第 第 59 55 回展 第61回展

会員推挙 吉忠賞

遊の表現を試みたことな

彫刻展示

で地階に降りると、

第10回二科展

氏

大阪展

巡回展日程

平成28年10月25日(火) 下成28年10月25日(火)

金沢21世紀美術館 平成28年11月11日(金) ~11月20日(日) 金沢展

◆京都展

京都市美術館 平成28年11月24日(木) ~12月4日(木)

◆東海展

平成28年12月20日(火) 平成28年12月20日(火)

平成29年3月3日(

▼福岡展

平成29年3月22日(水) 平成29年3月22日(水)

水

搬出[絵画

28日(日)

第101回二科展

日程表

第79回河北美術展にお

事務局だより

18日(木) 26日(金)~27日(土) 20日(土)~23日(火)審査 24日(水) 入落通知発送 19日(金) 搬入(個人)16時まで 搬入(業者・個人) 業者選外作品搬出

29日(月)~30日(火) 30日(火) 展示日 個人選外作品搬出

31日(水) 展覧会初日 作品研究会 テープカット10時

祝賀会18時 授賞式4時 [絵画]12時~ 14時

9月

3日(土) $\widehat{\mathbb{H}}$ ギャラリートーク ギャラリート [絵画] 13時

[絵画] 11時

| 彫刻] 15時

10日(土) ギャラリートーク 9日(金) ミニコンサート18時 6日(火) 休館日

11日 <u>日</u> ギャラリートーク |絵画||13時 |絵画||13時

12日 月 展覧会最終日

14時まで

搬出[彫刻]

13日(火) 搬出[絵画·彫刻]

選外作品搬出[彫刻] 展に、二科会から石川由巳 話会有志団体の薦選作家 展中の絵画部理事会におい 子、遠藤学の2名を、春季 れる、国立新美術館・懇 座井上画廊において開催さ 寺さゆりさんが、文部科 学大臣賞を受賞しました。 6月27日~7月2日、銀 宮城支部出品者の小野

第2回コラボ展示

4部門協調の二科展なら

て選抜しました。

ど、話題は上るものの、各 は、展示作品や、費用負担な 展関連事項でした。

以前から巡回展について

た中で、改善点の柱は巡回 多岐にわたりご指導を頂い

役員を全会員の投票に

派に加えて犬派会員も、多 の効果を上げるべく楽し 4部門の交流とコラボ展示 品の参加を募っています。 数の創造的遊びこころの作 作品でご参加ください。 マは「ネコ・イヌ100態」 ではの好評企画、 展示スペースも増え、猫 今回テー

> に努める等の取り組みをし して、作品指導や芸術振興

も保険をかけ、理事派遣を

念事業も無事に終了し、第 て参りましたが、百周年記

着で事務所にお送りくださ い。詳細・問い合わせは事 品写真・画像は8月10日必 ードを作成します。参加作 作品目録・選抜ポストカ

社で行う合理化案が理事会

で話し合われ、101回展

よう、巡回展運送業者を一 負担を少しでも軽減できる を設けることができました。 巡回展に目を向けた予算枠 101回二科展から、やっと

地域によって差異のある

から実施される事となりま

第101回二科展出品規約

四部門相互の協力、支部長

巡回展は会場の確保や、

を中心とした支部メンバー

できます。http://www.nikaten.com ホームページからダウンロード 一科展出品規約は、二科会公式

> って四年目の一月二十九日、 公益社団法人二科会とな 円滑な運営が望まれており ニケーションを深め、より 裾野を基盤に、縦横のコミュ 一科会は、全国に広がった

ました。 回の実施で、 に第一回目が実施され、今 役員選挙制度は平成20年 五回目を迎え

事業の面と経理の面から、

内閣府の立入検査が初めて

挙を経て、改善すべき所が まっております。 に合うよう、選挙検討委員 案から、二年後の選挙に間 運営されているかを表して 会(仮称)を設けることが決 する時期ではないかとの提 あるか否かを精査し、検討 いるものですが、五回の選 よって決めるこの制度は、 一科会が如何に公明正大に

きりというのが実情でした。 巡回展支部の先生方に任せ

ここ数年、巡回展作品に

印刷物の過程には、如何に がら、100回展を目指し 使用面積が幾分広くなりま 所のリニューアルにより、 ていたかをひしひしと感じ 多くの時間と労力が注がれ 正原稿をみると、完成した や、赤字の入った山積み校 に構築してきた膨大な資料 て記録をデータ化するため す。事務所の片付けをしな 今年の秋には二科会事務

思えますが、二科会全体 う間の出来事のようにも 過ぎてしまうとあっとい

の安否が思われます。

に、彼の地の二科関係皆様

の結束が必須となります。

100年という歴史ある

を確実に刻めたと実感して の熱意と協力があってこそ おります。 100年という歴史の節目

■大きな節目の記念展を終

事務局長 嵪

		1.4 %	,, ., . <u>.</u>	• • •					
なと展示点数									
23日									
	(彫	刻)	展示者数	展示点数					
	42名 (会友5名を 含む)	42点 (会友5点を 含む)	163名	163点					
	9名	9点	45名	45点					
ī									

2016春季二科展の展示者数 市方纲羊術館

会期 2016年4月17日~4月23								
(絵画)								
121名	121点	(≰						
36名	36点							
157名	157点							
	5年4月17 (絵 121名 36名 _(賞3名)	5年4月17日~4月2 (絵画) 121名 121点 36名 (賞3名) 36点						

げます。 かの、熊本地震の被災地の 皆さまにお見舞いを申し上 ■この度の二科巡回展さな 災害の報がある度

なる飛躍の一歩をこれから 第101 回二科展での 更

> 新しました。春号は前年 識して、今号から表紙を刷 向かいあう101回展を音 え、二科展の現在と未来へ

いと思います。 も田中理事長の下で臨みた

	事務局長
	塙
	珠世

2010-1-7-17-17-1-1-7-7-25-1									
	(絵画)		(彫刻)		展示者数	展示点数			
員	121名	121点	42名 (会友5名を 含む)	42点 (会友5点を 含む)	163名	163点			
抜者	36名	36点	9名	9点	45名	45点			
計	157名	157点	51名	51点	208名	208点			

助となるよう企画したいと 品者の方々とも、交流の一

参加、ご協力をお願いいた る支部長各位の積極的なご 考えています。地域を束ね 体・二科展の基盤となる全 するとともに、公募美術団 会の開催事業を報告・記録 する予定です。又、紙面は 期中の印象的シーンで構成

の活動の情報を共有し、出 国各地での巡回展・各支部

委員長 委 員 // // (絵) (絵) 金 深 本 野 澤 見 間 村

千恵子 まさ子 英

みそら

宮 澤

> 光 青

(彫)

幡

亮 果

編集後記

平成二十八年六月三十日発行 科 会

レイフラット新宿 501号室 東京都新宿区新宿4-3-15 03 (3354) 6646

160-0022 公益社団法人

03 (3354) 4768

いただき、秋号は二科展会 方にオリジナル表紙原稿を 二科展・大臣賞受賞会員